

「神奈川大学建築学研究」原稿執筆要領

建築学 太郎* 建築学 花子**

Preparation of Manuscripts for “Reports for Architecture and Building Engineering, Kanagawa University”

Taro KENCHIKUGAKU* Hanako KENCHIKUGAKU**

1. 緒言

原稿は、テンプレート（A4 判）に従って執筆し、提出の際は原稿のデジタルデータ（ファイル）を建築学研究所事務局に提出する。ファイルは MS Word（Windows または Mac）または TeX（PDF 提出）とする。原稿記載の順序は、標題、本文、文献、付録、である。

2. 本文及び原稿の体裁全般

A4 判用紙を用い、本文レイアウト（1 ページあたりの文字数）は、30 字×50 行×2 段＝3000 字とする。ただしタイトルのみは 1 段組である。

MS Word の“ページの設定”の“文字数と行数”のタブ中の設定はフォントサイズ 8、段数 2 で文字数 30、行数 50 とし、“余白”のタブ中の設定は上 29 下 22 左 13.7 右 13.7 としてある。

和文文字は MS 明朝、英文文字は Times New Roman とする。ただし、記号などに Symbol を用いることが出来る。

本文、図、表及び式は原則として左右の段にまたがらないように書く。小数点は〔.〕を用い、カンマ〔,〕を用いない。句読点は〔,〕〔.〕または、〔,〕〔.〕で統一する。注釈の使用はなるべく避ける。

3. 見出し

諸記号の字体は次のとおりとする。

（種 別）	（字 体）	（例）
数学的演算記号	立体	\sin, \sinh
単位記号	立体	cm, kg, MΩ
ベクトル量	斜体	速度 V , 力 F
量記号	斜体	周波数 f , 長さ l
化学記号	立体	H ₂ O, BaTiO ₂

文字の大きさは表 1 に示すとおりとする。

4. 図、写真及び表の作成

図、写真及び表は全てカラー表示が可能であるが、製本印刷はモノクロで統一し、PDF 版のみカラー掲載とする。このため、カラー表示を希望する場合は、モノクロ印刷時に識別できるよう留意する。

*教授 建築学部建築学科
Professor, Dept. of Architecture

**助教 建築学部建築学科
Assistant Professor, Dept. of Architecture

図、写真及び表が単段（片側）に収まらない場合は 2 段（両側）にまたがって書くことができる。

図、写真及び表の横に空白ができて、その空白部には本文を記入しない。

図、写真、表の見出しは本文と同一言語とする。図及び写真の見出しはその下に、表の見出しは上に書く。

図、表中の記号類は、小さすぎて判別不能にならないようにする。また、複雑な記号類は、大きめに描くようにする。

写真は本文に貼るだけでなく、写真のファイルを添付する。

5. 数式

数式エディタを用いて記載する。

式は単列に書くように整形する。

字体は Times New Roman を使う。ただし、Symbol は使用できる。

数式は原則として文章の行の中に入れない。やむを得ず挿入する場合には、1 行高さを守る。

例 1 [分数式の例]

…これは $(a + b) / (c + d)$ の形を取る。

例 2 [指数式の例]

…電流は $i = I \exp(-t / x)$ の形となる。

文中でなく、式を別行にする場合には、次のように書いても良い。

その結果、[上例の式] は次の形を取る。

例 1 [分数式の例]

…その結果、これは次式の形を取る。

$$\frac{a+b}{c+d} \quad (1)$$

例 2 [指数式の例]

…その結果、電流は次式の形となる。

$$i = I e^{-t/x} \quad (2)$$

6. 文献記載方法

文中の文献引用は、引用箇所には文献ナンバーを上付きカッコでつける。

参考文献 (References) はナンバーに () や [] を付して本文末に列記する。

引用文献は原則として以下のように記載し、Vol., No., pp.等は省

く (Vol. 30, No. 5, pp. 177-182 ではなく 30 (5), 177-182). また, 太字, 斜体を用いない.

著者名は原則として全員記述し, あまりに多い場合は「他」や「et al.」と略してもよい. また, [,] で列挙し, 欧文著者の場合, 最後のつなぎに「and」を加える.

例 1 論文の場合

(和文誌)

[1] 松原茂樹, 加藤芳秀, 江川誠二, 英文作成支援ツールとしての用例会検索システム ESCORT, 情報管理, 51 (4), 251-259 (2008).

(欧文誌)

[2] J. E. Lee, M. L. Fusco and A. J. Hessel, Structure of the Ebola virus glycoprotein bound to an antibody from a human survivor, Nature, 454 (7201), 177-182 (2008).

例 2 プロシーディング (Proceedings) の場合

[3] C. Büttner, S. Weinzierl, M. Yabushita and Y. Yasuda, Acoustical characteristics of preserved wooden style Kabuki theaters in Japan, Proc. Forum Acusticum 2014, R03D_1 (Krakow, 2014. 9).

例 3 書籍・著書の場合

[4] 坂村健, グローバルスタンダードと国家戦略 (日本の<現代> 第 9 巻), NTT 出版 (2005).

[5] D. Frenkel and B. Smit, Understanding Molecular Simulation (2nd ed.), Academic Press (2002).

7. 原稿作成上のヒント

このテンプレートは Windows MS Word97-2003 文書で作成してある. 著者が別に書いた原稿をコピーペーストすれば, 自動的に割付が決定する.

Word からコピーペーストする際, 書式情報無しのテキストのみをペーストするには, 対象の文字または一文をコピーした後にメニューの“ホームタブ”から“形式を選択して貼り付け…”を選択し, “テキスト”を選ぶ.

第 1 ページ標題部分は 1 段組である. この部分では, 項目ごとにコピーペーストが必要である.

本文は著者原稿から図, 表, 脚注を除いてコピーし, テンプレートにペーストする. その後で, 図等のスペースを作ってテキストボックスを挿入し, その中に図などをペースト, あるいはファイルからの挿入をする,

第 1 ページの脚注 (著者所属など) には, 直接入力しても, コピーした内容をペーストしても良い.

このテンプレートについて不明な点がある場合は, 建築学研究所事務局に問い合わせる.

8. 結言

校正は著者に依頼するので, 校正刷りが到着後, 速やかに校正を済ませて, 建築学研究所事務局まで返送する. 校正は内容が著者提出のハードコピーと一致することを確認するものであって, 軽微な修正点を除き, 変更を加えることはできない.

著者の責任による修正が生じた場合には, その修正に必要な実費を徴収する.

表 1 文字及びサイズ

題目	MS 明朝	14 ポ
著者名	MS 明朝	10 ポ
欧文題目	Times New Roman	12 ポ
欧文著者名	Times New Roman	9 ポ
本文	MS 明朝	8 ポ
本文の各節・小項目	MS ゴシック	8 ポ
図・表の見出し	MS ゴシック	8 ポ
参考文献・脚注	MS 明朝 Times New Roman	8 ポ

付録

[参 考] 神奈川大学建築学研究の配布

刷り上がった神奈川大学建築学研究は以下の各者に 1 部宛贈呈する.

- (1) 本学理事および建築学部所属教職員.
- (2) 建築学を有する国内の大学またはそれに準ずる学校.
- (3) 官公庁の研究機関.
- (4) 主要の学協会.
- (5) 民間の主要研究機関.
- (6) その他, 編集委員会が認めたもの.

[資 料] 英文用語一覧

Reports for Architecture and Building Engineering, Kanagawa University

神奈川大学建築学研究

Faculty of Architecture and Building Engineering	建築学部
Institute for Architecture and Building Engineering	建築学研究所
Department (Dept.) of	学 科
Architecture and Building Engineering	建築学
Professor	教 授
Professor Emeritus	名誉教授
Associate Professor	准教授
Assistant Professor	助 教
Research Associate	助 手
Technician	技術員
Graduate (M.C.)	大学院 (博士前期課程)
Graduate (D.C.)	大学院 (博士後期課程)
Research Student	研究生
Dean	学部長
Chairman of Dept. of ...	学科主任
Abstract	概 要

注: 准教授, 助手, 技術員, 研究生などについては種々の呼称があるが, 上記のように統一する.